

# 平成 30 年度石油コンビナート等防災体制検討会（第 2 回）

## 議事要旨

### 1 開催日時

平成 30 年 12 月 3 日（月）14 時 00 分～16 時 00 分

### 2 開催場所

東京都千代田区霞が関一丁目 3 - 1  
経済産業省別館 11 階 1111 会議室

### 3 議事要旨

#### (1) 防災計画について

- 各防災本部とも、地域の実情に基づいて計画を立てているという理解で良いか。  
→ 基本的な事項は、消防庁通知を踏まえて随時内容を充実させている。
- 東日本大震災を受けて見直されているのか。  
→ 東日本大震災以降、地震・津波対策等、消防庁通知が多く出されており、通知の内容を基に修正されている。

#### (2) 防災訓練について

- 防災訓練に関係する事業所、消防本部等の機関が準備段階からミーティングを重ねて顔を合わすことにより、相互理解が深まり、実災害にも役立つ。
- 消防庁の標準災害シナリオの活用により、短期間での訓練の企画が可能になっている。
- 人事異動があった直後に訓練を行うことが重要である。
- 災害対応では、コンビナート担当ではない職員が先に参集することもあるため、収集すべきコアな情報を事前に示しておくことも有効である。
- 県職員は、災害現場を知らないことがほとんどであるが、大規模災害を知るためには、実際の映像を見ることが有効である。
- 県の幹部職員が海上災害防止センターを視察し、実災害の様相を確認できるようにしている。
- コンビナート災害がイメージできる映像資料を検討していただきたい。
- 県の防災部局に配属となった新任職員（特に幹部職員）向けの訓練の仕組みを検討していただきたい。

#### (3) 検討会報告書の骨子（案）について

- 防災訓練で標準災害シナリオが活用されていない例が多い。標準災害シナリオには実際の災害の様相を取り入れているため、ぜひこれを活用していただきたい。